

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/02/15

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.44	-0.30
JPY/THB	0.2808	-0.0026
USD/JPY	115.54	0.12
EUR/THB	36.67	-0.47
EUR/USD	1.1307	-0.0043
USD/CNH	6.358	-0.008
SGD/THB	24.08	-0.22
AUD/THB	23.12	-0.24
USD/INR	75.60	0.22
USD Index	96.37	0.29

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.457	-0.003
10Y (THB)	2.206	-0.005
5Y (USD)	1.911	0.057
10Y (USD)	1.988	0.050

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,868.0	27.2
WTI (Oil)	95.46	2.36
Copper	9,920.0	59.5

Stock

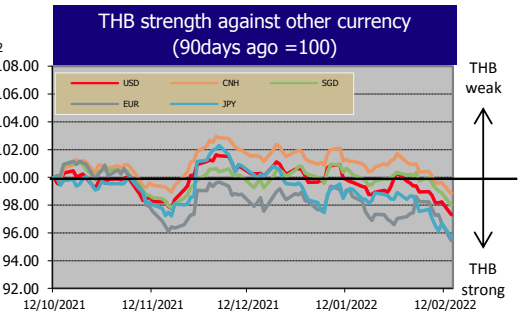
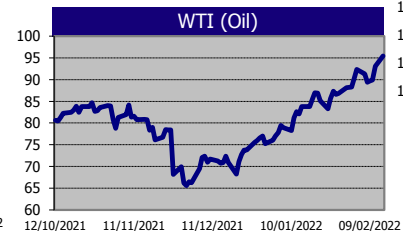
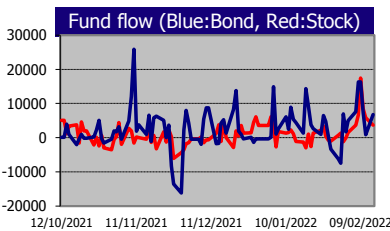
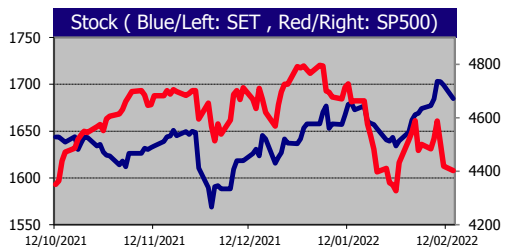
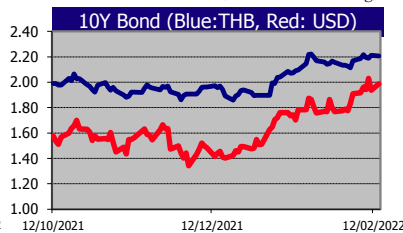
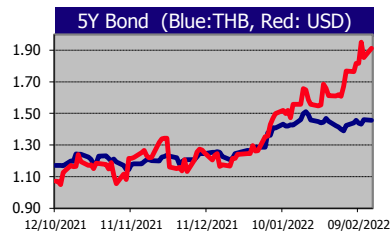
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,684.69	-14.51
NIKKEI (JP)	27,079.59	-616.49
DOW (US)	34,566.17	-171.89
S&P500 (US)	4,401.67	-16.97
SHCOMP (CN)	3,428.88	-34.07
DAX(GER)	15,113.97	-311.15

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,653	-2178.1
Bond net flow	6,721	5860.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。バンコク時間は32.60近辺でオープン。米国ではFED高官から早期の金融緩和縮小を支持する発言がみられ、短期金利の上昇が顕著となる中、2年-10年の金利差が0.50%を下回り、逆イールドへの警戒感が強まる中で米景気の失速も意識される展開。ウクライナ情勢の悪化から欧州通貨も買い進みにくく、米国株式市場が軟調に推移し、ドルへの資金回帰も躊躇され、地政学的にも金融政策的にも安定感のあるタイパーツは選好されやすく、ドルパーツはインフロ主導で下落を辿り、結局32.45近辺まで下落してクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落後に反発。東京時間は115.60円近辺でオープン。3連休明けの東京市場はウクライナ情勢の悪化懸念から、上値重い推移が続く、アジア株式市場が全面安となる中で115円台前半まで下落。ロンドン時間入り後も下落基調は続き、直近安値を下回ると一時115円丁度近辺まで下落。しかし、NY時間入りに、ブラッド・セントルイス連銀総裁から先週金曜日と同様に米国の早期金融緩和縮小を支持する発言が示されると、ウクライナ情勢悪化で下落していた米債が再び売られる展開を辿り、米10年金利は2.00%台を回復。ドル円も米金利の上昇につれて反発を辿り、結局115.55円近辺まで値を戻してクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

週明けのドルパーツは下落基調を継続し、昨年11月の安値32.58を下抜け、昨年8月の安値水準となる32.23を目指す展開となっております。タイでは先週9日にタイ中銀の金融政策委員会(MPC)を通過し、同会合では14会合連続で政策金利が0.50%に据え置きが決定された他、当面は現行金融政策の維持が継続される見込みとなりました。米国では足元のインフレ高進に対してFED高官が懸念を強めており、ブラッド・セントルイス連銀総裁からは目先3回での会合で1.00%の利上げを支持する発言が見られた他、QTに対しても前倒しでの実施を支持する発言もみられ、市場参加者へのメッセージを強く打ち出したいという意向が見受けられます。ウクライナ情勢においても、情勢緊張化が意識される状況下、グローバルに不透明感が強まっており、足元では資金回避地を求めタイパーツへのインフローが強まっている状況です。タイ国内の経済状況については、大きな変化は見られず、急激な経済回復期待は見込みにくい状況ではありますが、テクニカル的には下値を試しやすい状況ともいえ、17日の1月FOMC議事録発表までは、下値を意識した相場展開が継続しそうです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.